

平成20年人文学部人間情報学科
教員研究業績一覧(2008.1.1—12.31)
Academic Achievements in 2008 :
Department of Human Sciences, Faculty of Arts

凡例:

氏名 ①著書 ②論文・研究ノート ③翻訳 ④書評・随筆等 ⑤学会・研究会等での報告 ⑥上記以外の業績

哲学・思想論講座

- 平木幸二郎 ①『高校教科書 倫理』(東京書籍, 総頁212頁中91頁担当) [共著] ④「自己の実存と〈自己像〉」(東書Eネット「教科の窓」9月) [単著] ⑥1)「人とのかかわり, 物とのかかわり——科学技術時代を考える」(松本市民哲学の会主催・松本市中央公民館共催講座「哲学の散歩道」, 6月14日, 松本市中央公民館) [単独] 2) 出前講座「頭のよさと心の善さ」(9月4日, 連合佐久校長会研修会) [単独]
- 篠原成彦 ①『感情とクオリアの謎』(第9章「クオリアとクオリア実感」), 昭和堂 [共著] ⑥「不信心者の信仰論」(松本市民哲学の会主催・松本市中央公民館共催講座「哲学の散歩道」, 7月19日, 松本市中央公民館) [単独]
- 早坂俊廣 ②1)「〈場所の思想史〉序説(上)」(『信州大学人文学部人文科学論集<人間情報学科編>』第42号, pp.1-13) [単著] 2)「寧波における知の営みとその伝統」(『信大史学』第33号, pp.1-20) [単著] ③「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の一」(『東洋古典学研究』第26集, pp.127-155) [共著] ⑤1)「土地の記憶/全祖望の記録」(ワークショップ「焦点としての寧波・浙江—文化の多層性とその環境—」, 7月27日, 東京大学本郷キャンパス法文2号館1番大教室) [単独] 2)「冬青樹—全祖望の記録を中心にして—」(国際ワークショップ「宋代社会文化史研究の方法論をめぐって」, 12月14日, 愛媛大学法文学部本館2階中会議室) [単独] ⑥「愛の理・心の徳—朱子学の精髓」(松本市民哲学の会主催・松本市中央公民館共催講座「哲学の散歩道」, 6月21日, 松本市中央公民館) [単独]
- 護山真也 ②1)「*Pramāṇavārttika* III 192-193について」(『印度学仏教学研究』第56巻第2号, (114)-(119)頁) [単著] 2) ①“Sense data and *ākāra*” (M. K. Chakraborti, B. Löwe, M. N. Mitra and S. Sarukari eds., *Logic, Navya-Nyāya & Applications: Homage to Bimal Krishna Matilal*, College Publications, pp. 205-216) [単著] ④「苦を考える」(『そうせい』第140号, pp.18-19) [単著] ⑤“The Status of Self-awareness in the Sautrāntika Epistemology” (The XVth Congress of the International Association of Buddhist Studies, Emory University, Atlanta, 6月28日) [単独] 「主宰神の全知をめぐる仏教とニヤーヤ・ヴァイシェーシカ学派の対論」(東京大学大学院人文社会系研究科イ

ンド哲学仏教学研究室第175回研究例会，9月27日，東京大学山上会館）[単独] ⑥「無我説のジレンマーインド哲学としての仏教」（松本市民哲学の会主催・松本市中央公民館共催講座「哲学の散歩道」，7月5日，松本市中央公民館）[単独]

心理学・社会心理学講座

内藤哲雄 ①1)『留学生の異文化間対人葛藤の個人別構造分析』（平成16年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究C）研究成果報告書，1-92頁）[単著] 2)『PAC分析研究・実践集1』（ナカニシヤ出版，1-184頁）[共編著] ②1)「PAC分析を効果的に利用するために」（『人文科学論集<人間情報学科編>』第42号，信州大学人文学部，15-37頁）[単著] 2)「過重負担の医療・福祉従事者をどう支援するか」（『応用心理学研究』第33巻第2号，日本応用心理学会，148-162頁）[共著] 3)「現象・現場と対峙する」（『応用心理学研究』第33巻第2号，日本応用心理学会，170-171頁）[単著] ⑤1)「仕事と生活の調整に関するPAC分析」日本応用心理学会第75回大会発表論文集，62頁，平成20年9月（横浜国立大学）[共同] 2)「いじめにおけるコーピングの実験的検討：加害者から見た被害者によるコーピングの効果」日本応用心理学会第75回大会発表論文集，76頁，平成20年9月（横浜国立大学）[共同] 3)「中国人留学生による母国中国の人間関係のPAC分析」日本応用心理学会第75回大会発表論文集，39頁，平成20年9月（横浜国立大学）[単独] 4)「母親を取り巻く「育児ネットワーク」を構成する人々とは：自由記述回答の分析を通して」日本応用心理学会第75回大会発表論文集，112頁，平成20年9月（横浜国立大学）[共同] 5)「ロシア人留学生による日本人の人間関係スキーマ」日本心理学会第72回大会発表論文集，253頁，平成20年9月（北海道大学）[単独] 6)「母親を取り巻く「育児ネットワーク」の比較機能：学歴，就業形態，ネットワーク構成員との心理的距離の影響」日本教育心理学会第50回総会発表論文集，19頁，平成20年10月（東京学芸大学）[共同] 7)「家族イメージのPAC分析：PAC分析によるサブシステムの構造分析」日本教育心理学会第50回総会発表論文集，336頁，平成20年10月（東京学芸大学）[単独] 8)「PAC分析を語る(1)：質的分析と量的分析の結合について」日本教育心理学会第50回総会発表論文集，S132-133頁，平成20年10月（東京学芸大学）[共同] 9)「大学生の就業自己イメージ変容に関するPAC分析」PAC分析学会第2回大会プログラム・発表抄録集，9-12頁，平成20年12月（東邦大学）[共同]

今井 章

②論文・研究ノート

1)「 α 運動と眼球活動との関係」（『信州大学人文学部人文科学論集<人間情報学科編>』42，39-51頁）[共著] 2)「方向づけ課題における処理の深さと処理数が顕在記憶に及ぼす効果」（『基礎心理学研究』26，149-157頁）[共著] ⑤1)「日本語の単語認知における意味活性化と眼球運動」（日本認知心理学会第6回大会発表論文集，127頁（6月1日，千葉大学）[共同] 2)“Event-related potential correlates of Delboeuf illusion.” XXIX International Congress of Psychology, *International Journal of Psychology*, 43(3/4), (2008. 7. 24, Berlin)[共同] 3)“The effect of repetitive music listening for days on anxiety reduction.” The 10th International Conference on Music Perception and

Cognition, Abstract book of the 10th International Conference on Music Perception and Cognition, 95. (2008. 8. 27, Hokkaido) [共同] 4) 「攻撃的性格特性がP300成分に与える影響—攻撃的性格特性と認知処理能力からの検討—」第2回アジア・太平洋生物学的精神医学会 (2nd WFSBP Asia-Pacific Congress), *The World Journal of Biological Psychiatry: Final Program and Abstracts*, 241. (2008. 9. 13, Toyama) [共同] 5) 「天気図把握に関わる諸要因」日本認知科学会第25回大会発表論文集, 214-215頁 (9月6日, 同志社大学) [共同] 6) 「デルブーフ錯視における事象関連電位」日本心理学会第72回大会発表論文集, 501頁 (9月19日, 北海道大学) [共同] 7) 「隠匿情報検査場面における実務データの解釈について」日本心理学会第72回大会ワークショップ「虚偽検出検査の現状—現場からの問題提起」指定討論 (9月20日, 北海道大学) [単独] ⑥ 1) 独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成19年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について—安全運転のために—』」(1月18日, 長野県松本文化会館) [単独] 2) 運転者の心理「自動車運転者の適性管理について—安全運転のために—」独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成20年度運行管理者等基礎講習 (7月10日, 長野県松本文化会館) [単独]

高瀬弘樹

- ② “Identification of human bimanual operation using XY-stages” *Journal of Robotics and Mechatronics*, 20(4), 585-594 [共著] ⑤ 「三次元図案構成のためのタッチパネルシステム ヒューマンインターフェース2008」(CD-ROM No. 1433, pp.333-336, ヒューマンインタフェースシンポジウム2008・9月2日・大阪大学コンベンションセンター) [共同] ⑥ 「姿勢動揺に関するHAM的研究」(東京電機大学21世紀COEプログラム研究活動報告書, p.25) [単著]

長谷川孝治

- ② 1) How do shy people expand their social networks?: Using social surrogates as a strategy to expand one's network. *Asian Journal of Social Psychology*, 11, 67-74. [共著] 2) 自尊心と安心さがしが他者からの拒絶認知に及ぼす影響 人文科学論集<人間情報学編>, 42, 53-65. [単著] ⑤ 1) 愛着スタイルが自他の心理的距離に及ぼす影響 (日本グループ・ダイナミクス学会第55回大会, 6月15日, 広島大学; 発表論文集, 66-67.) [単独] 2) 低自尊心者の排斥生成過程 (日本グループ・ダイナミクス学会第55回大会 シンポジウム「受容と排斥のダイナミクス」 話題提供, 6月15日, 広島大学; 発表論文集, 1.) [単独] 3) The influence of self-esteem on psychological distance between self and other. *Poster presented at the meeting of 29th International Congress of Psychology (July 23, Berlin, Germany)*. [共同] 4) 外向・内向性がソーシャル・サポート過程に及ぼす効果 (日本心理学会第72回大会, 9月20日, 北海道大学; 発表論文集, 217.) [単独] 5) 自己と他者の自尊心レベルが適応に及ぼす影響—恋愛関係における検討— (日本社会心理学会第49回大会, 11月2日, かがしま県民交流センター; 発表論文集, 218-219.) [単独]

清水健司 ② 1) 「対人恐怖心性—自己愛傾向2次元モデルにおける自我同一性の様相」(『心理臨床学研究』, 26, 97-103) [共著] 2) 「対人恐怖心性—自己愛傾向2次元モデル

- における性格特性と精神的健康の関連」(『パーソナリティ研究』, 16, 350-362) [共著]
 ⑤1) 「対人恐怖心性における素因ストレスモデルの検討」(日本心理学会第72回大会発表
 論文集, ポスターセッション, 於: 北海道大学 2008年9月20日) [単独] 2) 「自己愛研
 究の最前線—誇大性と脆弱性へのアプローチ—」(日本心理学会第72回大会 ワークショ
 ョップ, 於: 北海道大学 2008年9月21日)

社会・情報学講座

- 澤木幹栄 ②「『方言文法全国地図』データの電子化」(『国語研の窓』36号, 国立国語研究
 所, 7頁) [単著] ⑤「JPOPの日本語」(長野・言語文化研究会, 12月20日) [単独]
 ⑥「JPOPの日本語」(長野県須坂高校で模擬授業, 10月23日) [単独]
- 中嶋聞多 ①「情報システム学へのいざない—人間活動と情報技術の調和を求めて—改訂
 版」(浦昭二ほか編, 培風館) [共著] ②「企業と地域のブランド戦略」(『地域ブランド研
 究』, 第4号, 地域ブランド研究会, pp.25-46) [単著]
- 村山研一 ①編著: 『地域ブランドの諸相』(信州大学人文学部 科学研究費補助金基盤研究
 (A)地域ブランドの手法による地域社会の活性化・中間報告書, 103p.) ②1) 「地域自治会
 への加入問題と住民類型」(『信州大学人文学部・人文科学論集/人間情報学科編』第42号,
 67-82) [単著] 2) 「景勝地としての上高地の成立」(『北アルプス地域における自然環境
 の変動と保全・適正利用に関する総合研究, 21世紀における日本アルプスの自然環境』,
 信州大学山岳科学総合研究所・信州大学理学部2007年度信州大学学長裁量経費プロジェク
 ト研究報告書, 226-237) [単著], 3) 「昭和初期の上高地……水力開発, 自然保護, 国立
 公園」(『地域ブランド研究』第4号, 1-24) [単著] ⑤1) 「パネルディスカッション・地
 域価値の発掘と地域ブランド」パネリスト, 第2回地域ブランド研究グループ中間報告
 会・地域価値の発掘と地域ブランド, 2008.3.9, 信州大学旭会館, 2) 「景勝地として
 の上高地の形成」山岳科学総合研究所2007年度研究成果発表会, 2008.3.10, 信州大学理
 学部大会議室⑥ [共編著] 『田園地域におけるコミュニティ活動』信州大学人文学部社
 会・情報学講座調査実習報告書, 255p.
- 菊池 聡 ①『自分だましの心理学』(祥伝社) [単著] ②「非合理の潮流と現在 人のここ
 ろから見た不思議現象」(『理科教室』Vol.51, No.5, 6-11頁) [単著] ③『懐疑論者の
 事典 (上)(下)』(楽工社) 日本語版編集委員 [共同] ④1) 「注意欠陥・多動性障害
 ADHDを“治療”する: 解説」(『Journal of Japan Skeptics』vol.17, No.1, 14-15頁)
 [単著] 2) 「本当のところ, 教育には何ができるのか: 解説」(『Journal of Japan Skep-
 tics』vol.17, No.3, 10-11頁) [単著] ⑤「ニセ科学に騙される心のシステム」(衛生薬
 学・環境トキシコロジー・フォーラム2008, 10月18日, 熊本市民会館) [単独] ⑥1) 出
 前講座「だまされるころの心理学」(9月9日, 長野県信濃町立信濃中学校PTA親子
 講演会) [単独] 2) 出前講座「だまされる心の心理学」(10月1日, 長野県松本消費生
 活センター消費生活大学公開講座) [単独] 3) 「人はなぜ不思議現象を信じるのか 思い
 込む心の心理学」(11月5日, 長野県総合教育センター特別研修講座) [単独]
- 祐成保志 ①『<住宅>の歴史社会学: 日常生活をめぐる啓蒙・動員・産業化』(新曜社,
 334頁) [単著] ②「札幌市民のメディア利用とテレビ視聴態度: 札幌市民のくらしとテレ

ビ調査2006」(『情報科学』28号, 札幌学院大学情報科学研究所, 21-36頁) [共著] ④「重
 装備化した住宅からの脱却を」(『すまいろん』88号, 住宅総合研究財団, 15-21頁) [単
 著] ⑤1)「住空間の社会学の観点から」(第75回住総研ミニシンポジウム「家族のあり方
 とnLDK」, 7月4日, 住宅総合研究財団会議室) [単独] 2)「ハウジングの文化社会学」
 (第81回日本社会学会大会一般研究報告, 11月23日, 東北大学) [単独] ⑥1)「モデルハ
 ウスと日本人:理想の住まいを追い求めた100年」(第54回人文学部夕べのセミナー, 2月
 10日, 松本市美術館) [単独] 2)『田園地域におけるコミュニティ形成』(信州大学人文学部文化・情報論講座調査実習報告書) [共編著] 3)「安曇野市民の交流状況」(信州大
 学人文学部委託調査研究報告会「安曇野市の農業, 近隣関係とコミュニティ意識」, 7月
 12日, 豊科ふれあいホール) [単独] 4)「モデルハウスと日本人」(講演紹介, 『信大
 NOW』50号, 信州大学, 14頁) 5)「親子の絆×地域の絆」(インタビュー, 『広報あづ
 みの』73号, 安曇野市, 10-11頁)

辻 竜平

- ②1)「ネットワーク理論から見た野沢温泉の活性化:観光関係者へのインタビューをふま
 えて」(『市民活動の活性化支援の調査研究:秩序問題的アプローチ』平成17年度~19年度
 科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書, 141-150頁) [共著] 2)「新潟県中越
 地震におけるパーソナル・ネットワークと一般的信頼の変化:震災前後のパネル調査を用
 いて」(『社会学研究』84号, 69-102) [共著] ⑤1)「友人関係の推移性と一般的信頼:ト
 ライアド法を用いた中学生データの分析」(数理社会学会第45回大会, 3月16日, 成蹊大
 学) [共同] 2)“Closeness and Trust of Japanese Junior High School Students”
 (Paper presented at 4th Joint Japan-North America Mathematical Sociology Confer-
 ence, June 1) [共同] 3)「直接的・間接的にアクセス可能なネットワークが一般的信頼
 と寛容性に及ぼす影響:ポジション・ジェネレータを用いて」(日本社会心理学会第49回
 大会, 11月3日, かがしま県民交流センター) [共同] 4)「ソーシャル・キャピタルと犯
 罪抑制:割れ窓理論の観点から」(日本社会心理学会第49回大会, 11月3日, かがしま県
 民交流センター) [共同] 5)「直接的・間接的にアクセス可能な他者と地位達成:ポジ
 ション・ジェネレータを用いて」(日本社会学会第81回大会, 11月23日, 東北大学) [単独]
 ⑥その他1) NPO 法人横断型基幹科学技術研究団体連合「分野横断型科学技術アカデミ
 ック・ロードマップ(社会システムのシミュレーション・モデリング技術分野 WG
 [WG2])」委員, 2008年10月~2009年3月

歴史学講座

- 久保 亨 ①『現代中国の歴史—兩岸三地100年のあゆみ』(東京大学出版会, 2008年6月,
 1-288頁) [久保亨, 土田哲夫, 高田幸男, 井上久士共著] ②1)「關於企業管理公司的新
 思考」(張忠民・陸興龍・李一翔主編『近代中国社会環境与企業發展』上海社会科学院出
 版社, 2008年3月, 5-10頁) [単著] 2)「戦時重慶の綿紡織業と国民政府」(『信大史学』
 第33号, 2008年11月, 20-39頁) [単著] 3)「『1949年前後の中国』をめぐる対話:上原一
 慶氏と高橋伸夫氏の書評に答えて」(久保亨, 高田幸男, 丸山鋼二, 山本真)『近きに在り
 て』第53号, 2008年5月, 74-81頁 [共著] ④1) Book Review, Kai Yiu Chan, Business

Expansion and Structural Change in Pre-War China: Liu Hongsheng and His Enterprises, 1920-1937', *International Journal of Asian Studies*, vol.5, part2, Jul. 2008, pp.260-263 [単著] 2) 「書評 羅志田『乱世潜流：民族主義と民国政治』(上海古籍出版社, 2001年)」『近きに在りて』第54号, 2008年11月, 110-113頁 [単著] ⑤ 「在華日資紗廠紡織生産設備以及其継承」(在華日系企業研究ワークショップ, 2008年8月2-3日, 大阪大学) [単独]

佐々木明 ② 「サブアトランティック期中葉(紀元前0.5-0.1千暦年)の気温変動と世界史——完新世の人類学⑩」(『人文科学論集<人間情報学科編>』第42号, pp.107-130) [単著]

笹本正治① 1) 『小菅の柱松—北信濃の柱松行事調査報告書—』(飯山市教育委員会, 63頁分執筆) [共著] 2) 『新府城の歴史学』(新人物往来社, 35頁分執筆) [共著] 3) 『中世の音・近世の音—鐘の音の結ぶ世界—』(講談社学術文庫, 343頁) [単著] 4) 『戦国時代の諏訪信仰—失われた感性・習俗—』(新典社新書, 157頁) [単著] 5) 『日本人の川と水への意識』(特定非営利活動法人 川の自然と文化研究所, 49頁) 6) 『武田信玄と松本平』(一草舎, 284頁) [単著] ② 1) 「土石流災害と伝承—身近な防災のために—」(信州大学自然災害科学研究会編『長野県中・南部における平成一八年七月豪雨災害』, 信州大学, 51~66頁) [単著] 2) 「高遠の学と信州教育」(『長野県中学校長会六〇周年記念 第59回長野県中学校長会研究協議会 研究集録』, 長野県中学校長会, 76~91頁) [単著] ④ 1) 「過去の日本人は自然や水を畏れ敬い, 池の水色変化を災害などの凶事の予兆と考えた」(『PORTAL』第71号, 財団法人河川情報センター, 56~57頁) [単著] 2) 「伊那の花に寄せて」(『伊那市』ふるさとだより, 伊那市総務部政策推進課, 8頁,) [単著] 3) 「除夜の鐘などをめぐって」(『本』第33巻第5号, 講談社, 58~60頁) [単著] 4) 「まほら伊那ふるさと便 歴史と人情のまちに学ぶ」(『市報いな』2008年5 (NO.26), 長野県伊那市, 16頁) [単著] 5) 「信州の山岳信仰~小菅山~」(『信州大学放送公開講座 信州の山と人々の暮らし~山岳科学の想像~』, 信越放送株式会社, 38~43頁) [単著] ⑤ 1) 「古代・中世の嚮」(古代考古学フォーラム, 帝京大学山梨文化財研究所・山梨県立博物館, 1月27日, 山梨県立博物館) 2) 「武田氏から見た御館の乱」(妙高市・鮫ヶ尾城国史跡指定記念シンポジウム「鮫ヶ尾城と直江兼統の生きた時代」, 8月31日, 妙高市文化ホールホワイエ) [単独] 3) 「民衆信仰からみた善光寺」(日本民俗建築学会・文部科学省科学研究費補助金研究成果後援促進比補助事業2008年度日本民俗建築学会シンポジウム「詣の中心と周辺 善光寺—寺院・宿坊群・仲見世・門前からなる歴史的宗教都市の形成と町のあり方を考える」, 10月13日, 善光寺事務局内善光寺講堂) [単独] ⑥ 1) 「信大放送公開講座 山岳信仰—小菅山」(2月23日16時から16時30分, 信越放送テレビ) 2) 「ふるさと信州の宝物 山国の民の誇り~伝統行事・祭り」(2月24日16時から17時, 信越放送テレビ) 3) 「甲斐・信濃の武田氏城館跡とその後」(山梨県生涯学習センター・山梨県埋蔵文化財センター, 3月15日, 男女共同参画推進センター) 4) 「天竜川の災害伝承と防災」(天竜川水防会, 4月24日, 飯島町文化館) 5) 「飯山小菅の魅力」(第8回長野県市長OB会総会, 4月25日, 斑尾高原ホテル) 6) 「高遠と日本を代表する池上番匠」(井月俳句大会, 5月11日, 高遠閣) 7) 「現代の忘れ物—「夕焼け小焼け」の歴史と感性—」(伊

- 那市高遠町遠照寺，5月24日，遠照寺）8）宮下英樹，中井均と共に鼎談『センゴクをめぐる』（小諸市，5月25日，小諸城大手門横特設会場）9）「戦国の争乱から見えてくるもの—食料と気候—」（第57回全国高等学校定時制通信制教育振興会北信越地区大会，6月3日，松本東急イン）10）「高遠の学と信州教育について」（長野県中学校長会60周年記念上伊那大会，6月7日，駒ヶ根総合文化センター）11）「戦国時代の諏訪信仰」（大町高校，6月20日，大町高校）12）「善光寺の歴史と魅力」（東京JTB，6月21日，信州大学サマーカレッジの模擬授業）13）「現代の忘れ物—「夕焼け小焼け」の歴史と感性—」（八十二銀行岡谷市店，6月26日，・岡谷市テクノプラザ）14）「戦国時代の諏訪信仰」（諏訪市公民館，9月25日，諏訪市公民館）15）「武田信玄と松本平」（日本広告，10月23日，ホテルモンターニュ松本）16）「美の壺」（12月19日22時～22時45分，NHK教育テレビ）
- 大串潤児 ①信濃史学会編『長野県民の戦後六〇年史』信毎書籍出版センター2008年，第一章第五節「四 戦後文化の再生」のうち「虚脱と解放のなかの大衆文化」「文化運動」「逆コースのなかでの文化運動」（137-141頁）および第二章第四節「一 新しい社会問題と地域」「二 暮らしと家族といのち」「三 新しい社会運動の展開と平和運動」（225-251頁）を分担執筆：同書編纂委員，[共著] ②1）『下伊那のなかの満洲』（第1-5集）を読み解く」蘭信三編『2007年10月20日飯田シンポジウム報告集 満蒙開拓を語りつぐ意義と可能性』京都大学国際交流センター・満蒙開拓を語りつぐ会（飯田市）2008年，53-73頁，[単著]，2）「戦後日本における「世代」論の問題領域」『歴史評論』698，2008年6月号，44-57頁，[単著]，3）「教科書検定問題と歴史教科書叙述」『歴史学研究』846，2008年10月増刊号（2008年度大会報告集），181-188頁，[単著] ④1）「書評：『千葉県の歴史』資料編・近現代9（社会・教育・文化3）」『千葉県史研究』（財団法人千葉県史料研究財団）16，2008年3月，126-130頁，[単著] ⑤1）「教科書検定問題と歴史教科書叙述」2008年度歴史学研究会大会特設部会「教科書検定・歴史叙述・歴史実践」報告，2008年5月19日，於・早稲田大学，[単独]，2）「地域にとっての「戦争責任」問題 研究の現状と課題」現代史サマーセミナー，2008年8月2日，於・プラトンホテル（戸倉上山田温泉），[単独] ⑥1）「長野オリンピックから十年 スポーツ史研究の課題」（インタビュー記事・聞き手／構成小林竜太郎）『長野』（長野郷土史研究会）第257号，2008年2月，5-7頁，[単独]，2）『月刊 ポブラディア』第56号，2008年10月号「特集 昭和のくらし—高度経済成長期の日本」，(株)ポブラ社，2008年9月，4-33頁，[校閲]，3）「市民と戦争—教科書問題の今」松代大本営の保存をすすめる会・NPO法人松代大本営平和祈念館定期総会，2008年2月17日，於・松代公民館，[講演・単独]，4）「いまに生きる『葦』—何を学ぶか？」第30回全国葦会，2008年9月4日，於・ほりで—湯四季の里（安曇野市旧堀金村），[講演・単独]
- 佐藤全敏 ①『平安時代の天皇と官僚制』（東京大学出版会，418頁，2月）[単著] ④「森のなかの唐」（随筆，『歴史書通信』180，2-4頁，11月）[単著] ⑤1）「奈良・平安時代の贅と貢納」（國學院大學文学部共同研究公開シンポジウム，2月10日，國學院大學）[単独] 2）「古代日本の四等官制」（信大史学会，2007年12月1日，松本市あがたの森文化会館，昨年度に追加）[単独] ⑥1）「天皇の食事 透ける国風」（信州大学人文学部夕べのセミナー，7月15日，信州大学）[単独] 2）「古代天皇の食事 透ける国風」（社団法人

金鶏会「古典を読む」,平成19年度科学研究費補助金・学術創成研究費,11月22日,長野高校金鶏会館) [単独] 3)「天皇の食事から見た古代の日本」(大学模擬授業,7月6日,諏訪二葉高校) [単独] 4)「天皇の食事 透ける国風」(『朝日新聞』5月15日朝刊文化欄,著書概要紹介・インタビュー,紙面6段) 5)「研究室紹介」(インタビュー,『信大NOW』52,7月)

山本英二 ① 1)「風林火山の記憶と由緒—近世前期甲斐国雲峰寺・恵林寺の勅化を事例に—」(青柳周一・高埜利彦・西田かほる編『近世の宗教と社会 1 地域のひろがりと宗教』吉川弘文館, P2-26) [共著], 2)「近世後期の地主経営と温泉—天保13~弘化3年杳野村忠右衛門家質一件をめぐる—」(国文学研究資料館編『近世・近代の地主経営と社会文化環境』,名著出版, P309-338) [共著], ② 1)「幕藩前期三河国における年貢収取の史料学的考察」(『国文学研究資料館紀要アーカイブス研究篇』4号, P1-20) [単著], 2)「日本中近世史における由緒論の総括と展望」(『歴史学研究』847号, P2-10) [単著], 3)「史実としての家康説話集」(『江戸文学』39号, P103-112) [単著], ④ 1)「史料紹介 文書の裏を打つ—長野県木曾郡王滝村御嶽神社・滝家所蔵「代々許状写」—」(『地域ブランド研究』3号, P1-11) [単著], 2) [書評・深谷克己著『江戸時代の身分願望』] (『人民の歴史学』175号, P16-20) [単著], 3) [書評・渡邊忠司著『近世社会と百姓成立』] (『日本歴史』723号, P112-113) [単著], ⑤ 1)「時代劇で学ぶ江戸時代」(名古屋市栄中日文化センター講座, 1/25, 2/15, 3/21, 4/18, 5/16, 6/20, 7/18, 8/29) [単独] 2)「江戸時代の温泉旅行」(名古屋市栄中日文化センター講座, 9/19, 10/17, 11/21, 12/19) [単独] 3)「温泉と貸本—城崎温泉を事例に—」(第40回「書物・出版と社会変容」研究会研究報告, 7月5日, 一橋大学佐野書院) [単独], 4)「王滝村は日本—古い村だった」(御嶽山学習講座, 12月8日, 長野県木曾郡王滝村公民館) [単独], ⑥ 1) 愛知大学文学部春学期非常勤講師「古文書読解」 2) 日本古文書学会編集委員 3) 徳川林政史研究所特任研究員